

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	胃切除 Roux-en-Y 法再建後に合併する内ヘルニアの検討
	研究目的	胃切除 Roux-en-Y 法再建後に生じる間隙により内ヘルニアが合併することが知られているが、内ヘルニアは間隙閉鎖により予防可能かを検討する。また barbed suture を用いた間隙閉鎖法の治療成績も検討する。2007年から2017年に当院で腹腔鏡下胃切除 Roux-en-Y 法再建を行った290例を後方視的に検討する。
	研究期間	西暦 2018 年 6 月 8 日 ~ 西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	大島 貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし